

平成27年度入学試験（後期日程）  
「小論文（地域学部地域政策学科）」出題の意図

【問1】近年、これまで行政が独占的に担ってきた諸活動を、「新しい公共」の考え方を受けてNPOなどとの協働へと転換し、市民の参画を促す傾向が強まっている。こうした潮流をとらえた新聞記事から、「新しい公共」の基本的な考え方を的確に理解するとともに、その特徴を簡潔に整理・要約する力を問う。

【問2】地方都市の中心市街地域や過疎地域については、シャッター街化や限界集落化など、既に多くの課題が生起している現状が周知されている。そこで改めてその基礎知識を問いつつ、問1で確認した「新しい公共」の考え方によって、地域のいかなる主体が、相互に利益が得られるような結果を目指してどのように連携して地域課題の解決に貢献しているかを考察させることで、地域課題をとらえる視野の広さや課題解決への分析力、そしてそれを説明する論理的思考力をみる。